

平成16年度実施状況について

第3章 教育・分野・スポーツの分野			現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容	
第1節 「潤い」のある教育の推進									
66	少人数指導の充実	教育委員会 教職員課	子どもたちの個性に応じた指導を行うため、教員免許を有する少人数指導サポートプラン臨時教員を全小中養護学校に配置します。	臨時教員数17名 (小学校11、中学校6)	17名	135名 (全小中養護学校)	少人数指導サポートプラン臨時教員を小学校に11名、中学校に6名配置しました。	—	—
67	環境教育・学習の推進（再掲p26）	環境経済局 環境総務課 教育委員会 指導1課	環境への意識を高めるため、リサイクル活動や学校緑化コンクールへの参加、学校ビオトープの管理・活用などを充実します。また、環境講座・研修会を通じて環境問題を学ぶ機会を増やすとともに、市民が相互に収集・発信・交換できるよう、ごみ・リサイクル・自然保護などの環境に関する情報を整備します。	リサイクル活動 実施校62% 環境美化活動 実施校63%	65% 65%	90% 90%	アースミュージカルの上演や、こどもエコクラブの登録を促すなど環境学習を推進しました。また、環境啓発事業として、6月の環境月間のポスター掲出や、環境保全標語・ポスター作品コンクールを実施しました。 学校緑化コンクールとホテル飼育については継続して実施しました。 環境教育資料作成については、「さいたま市の学校における環境教育基本計画」を作成し、市内小・中学校に冊子、リーフレットを配布しました。	—	—
68	特色のある学校づくり推進事業	教育委員会 指導1課	授業や地域の方々の憩いの場に活用できる自然園づくり、地域にある貴重な植物の保存活動、中学生が算数教師として小学校5・6年の算数の学習をサポートするなど、市立小中養護高等学校の創造的な「特色ある学校づくり」の取り組みを推進するため、毎年10校程度の推進指定校を定め、各学校を支援します。	推進	推進	推進	確かな学力の向上や心の教育の充実、奉仕活動・体験活動の充実など、特色のある学校づくり推進校22校を指定し、取り組みを支援しました。	—	—
69	小・中一貫「潤いの時間」の展開	教育委員会 指導1課 指導2課	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指すため、『潤いの時間』を教育課程に新設し、小学校から中学校まで小・中一貫の系統的・継続的なカリキュラムのもと、「人間関係プログラム」並びに「英会話」を実施することにより、コミュニケーション能力をはじめとする人間関係の構築に必要な技術を学びます。	構想・検討	教育特区申請、認可	教育特区申請 (16年度) 134校（全小中学校）	人間関係プログラムを作成し、「英会話」骨子の検討を行いました。また、内閣府へ教育特区申請を行い、認可がおりりました。	—	—

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
70	生徒指導総合計画 子ども潤いプランの推進	教育委員会 指導2課	次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、「体験活動の場や機会の充実」「家庭・地域社会の教育力の充実」「心のサポート体制の確立」「魅力ある学校づくりの推進」の基本施策に基づいたアクションプログラムを展開します。	推進	推進	子ども潤いプランの見直し (19年度) 推進	子ども潤いリーフレットや心を潤す4つの言葉啓発ポスターの配布を行い、啓発活動を行いました。	-	-
71	国際理解教育・交流事業（再掲p108）	教育委員会 指導1課	市立中学校の生徒や本市在住の高校生などを海外に派遣する国際交流活動、外国語指導助手や地域在住外国人ボランティアによる国際理解教育を充実します。	外国語指導助手 28名 地域在住外国人 ボランティア 28名	28名 32名	32名 50名	中学生56名をハミルトンに、市内在住高校生10名をピッツバーグに派遣しました。外国語指導助手28名を雇用し、市内小学校・中学校・高等学校へ派遣しました。また、外国人ボランティア32名が市内小学校へ延べ333回訪問し、国際理解教育を推進しました。	-	-
72	情報教育の充実（再掲p83）	教育委員会 教育研究所	市内の全小中養護学校（135校）の特別教室や普通教室に教育用コンピューターを整備します。	構想・検討	0校	整備済学校数 92校	平成19年度開設予定の学校について、設計段階から、校内LAN敷設を計画しました。	-	-
73	教育相談・相談室 運営事業	教育委員会 指導2課	教育に関する様々な相談体制の充実のため、教育相談室や適応指導教室を運営するとともに、すべての中学校に設置したスクールカウンセラーやさわやか相談員によるカウンセリング等、児童生徒の心の悩みや不安の解消に努めます。	推進	推進	充実	幼児から高校生及びその保護者、教職員への教育相談を実施し、教育に関する問題の解決や悩みの軽減を図りました。	-	-
74	特別支援教育事業の推進（再掲p43）	教育委員会 指導2課	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。	推進	推進	特別支援教室の設置 市立養護学校の特別支援学校への転換 推進	特別支援教育コーディネーター養成研修会を開催しました。また、巡回相談員を各学校に派遣しました。	-	-
75	過大規模校解消事業	教育委員会 教育総務課	過大規模校の解消のため、小学校を新設します。また、児童数の増加が見込まれる小学校で施設整備を進めます。	事業中	事業中	推進	辻南小の実施設計、用地測量を行いました。	-	-

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
76	小中学校整備事業	教育委員会 学校施設課	老朽化した校舎の改修や改築、耐震補強工事などを行うとともに、武道場未設置の中学校で武道場整備を進めます。	事業中	事業中	推進	耐震補強工事10校、トイレ改修9校、屋上防水10校、校舎外壁塗装8校、屋体改修7校、校庭芝生化1校などを行いました。	-	-
77	学校図書館の充実	教育委員会 教職員課 教育研究所	市立の小中学校すべてに、司書や司書補を配置するとともに、図書館コンピュータを設置し、蔵書情報のデータベース化・ネットワーク化により、蔵書などの共同利用化を進めます。	図書館司書 98人 図書館コンピュータ 78校	116人 91校	134校（全小中学校） 134人（全小中学校）	学校図書館司書を小学校76名、中学校40名配置しました。また、図書館コンピュータを小学校13校に新規導入しました。	-	-
78	学校給食施設の整備	教育委員会 学校施設課	児童生徒に、より安全でおいしい給食を提供するため、給食センターから給食の提供を受けているすべての小中学校に単独校調理場を設置します。	単独校調理場 整備済の学校 113校	127校	134校（全小中学校） （19年度）	14校に単独校調理場を建設し、4校について設計を行いました。また、中学校12校について、給食室建設工事を実施しました。	-	-
79	教育情報ネットワークの充実	教育委員会 教育研究所	学校の校内LANの構築と高速回線によるインターネット接続を進めるとともに、さいたま市地域イントラネットと連携し、望ましい教育情報ネットワークを構築します。	普通教室にLAN を敷設している 学校 0校	21校	135校 （全小中養護学校）	小学校15校、中学校6校、コンピュータ室機器を入れ替えました。	-	-
80	市立高等学校の整備	教育委員会 学校施設課	老朽化した学校施設の耐震補強工事や改築を計画的に進めます。	事業中	事業中	推進	大宮北高等学校西校舎北側外壁の修繕を行いました。	-	-
81	中高一貫教育の推進	教育委員会 指導2課	市立浦和高校における併設型中高一貫教育校開設に向けて、具体的な建設計画の立案、教育方針・教育目標などの策定を行います。	構想・検討	事業化検討	併設型中学校開校 （19年度）	基本・実施設計、既存照明設備等改修、教育課程、選抜、校務などの調査・研修・策定を実施しました。	-	-
82	「さいたま教育コラボレーション構想」の推進	教育委員会 指導1課	埼玉大学などと連携し、学生による児童生徒への学習支援などの教育ボランティア活動や教員の大学講座への参加、学生へのキャリア教育などを実施し、教職員の資質向上と学校教育の充実を図ります。	構想・検討	推進	推進	埼玉大学と「さいたま教育コラボレーション協定書」を締結しました。また、第1回さいたま教育コラボレーション推進委員会を開催しました。	-	-
83	地域講師派遣事業	教育委員会 指導1課	市内小・中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、地域の人材を講師として派遣します。	派遣人数 431人	498人	670人	市内小・中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、地域の人材を講師として派遣しました。	-	-

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
84	地域に開かれた学校運営の推進	教育委員会指導1課	各学校において、家庭・地域の声を生かし、地域の学校としての運営を行うため、学校評議員制度を導入し、地域に開かれた学校づくりを進めます。	学校評議員設置校73校	134校	139校（全小中高養護学校）	市内小・中学校134校全てに学校評議員を設置しました。	-	-
第2節 生涯学習の振興									
85	図書館整備事業	教育委員会北浦和図書館大宮図書館	市民の主体的な学習の場として需要の高い図書館を充実するため、中央図書館（浦和駅東口市街地再開発ビル内）や地区図書館（桜木図書館、桜図書館、片柳地区、北部拠点宮原地区）を整備します。	事業中	桜木図書館開設 事業中	桜木図書館開設（16年度） 桜図書館開設（17年度） 片柳地区開設（18年度） 中央図書館、北部拠点宮原地区開設（20年度）	桜木図書館を開館しました。貸出利用人数は56,365人、貸出数は209,055点でした。	-	-
86	図書館利用ネットワーク導入事業	教育委員会北浦和図書館	図書館の利便性を高めるため、インターネットで全図書館の蔵書の一括検索や予約などが可能となるコンピュータシステムを導入します。	構想・検討	システム構築	システム構築（16年度）	システム構築を行い、H17年3月に本稼動しました。	-	-
87	生涯学習活動の振興	教育委員会生涯学習振興課	市民に多様な学習機会を提供し、学習活動を支援するため、生涯学習推進計画を策定し、民間事業者や高等教育機関などとの連携による学習プログラムの充実を図ります。さらに、習得した知識や技能を活用するための仕組みや、学習成果に対する評価についての調査・研究を進めます。	推進	生涯学習総合センター開設 生涯学習推進計画策定 推進	生涯学習総合センター開設（16年度） 生涯学習推進計画策定（16年度） 推進	生涯学習総合センターを開設するとともに、生涯学習推進計画を策定しました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	生涯学習推進計画の策定にあたって、広く市民の意見を反映させるために、生涯学習推進計画策定市民会議を設置し検討を進めました。また、パブリック・コメントを実施し、さらに広く市民意見を募集し、計画を策定しました。
88	市民大学の充実	教育委員会生涯学習振興課	市民の高度で専門的な学習意欲に対応するため、市民大学の講座内容を充実し、魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、各生涯学習施設と連携し多様な学習機会の場を提供します。	受講者386人	358人	500人	市民大学を開講し、358人の受講がありました。	-	-
89	（仮）鈴谷地区公民館建設事業	教育委員会生涯学習総合センター	地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	構想・検討	事業化検討	開設（19年度）	基本・実施設計を行いました。	8 公共施設の適正配置	公共施設の新規整備の重点化を図り、公民館未整備地区である鈴谷地区に整備するため、検討を進めました。

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
90	青少年の健全育成事業（再掲p100）	市民局 青少年課	青少年の健全育成のため、巡回活動やキャンペーン、青少年施設などの運営、青少年育成さいたま市民会議への支援などを行います。	推進	推進	推進	青少年育成さいたま市民会議による巡回活動を延べ1,371日実施しました。非行防止キャンペーンを、大宮・さいたま新都心・浦和駅の各駅で実施しました。猿花キャンプ場利用者は4,953名、成人式参加率は69.47%でした。	1 協働の仕組みづくり・具体化 3 市民活動の支援 7 健全な行財政運営	市民会議では、青少年健全育成への全体的な機運高揚を図るため、非行防止キャンペーン、事例発表、研修会、巡回活動Q&A配布などを行いました。また、成人式の実施にあたり、運営ボランティアの拡大や動員職員の削減などにより経費削減に努めました。
第3節 生涯スポーツの振興									
91	スポーツ振興基本計画事業	教育委員会 体育課	市民一人ひとりが積極的にスポーツ活動に関わり、健やかに毎日を過ごせるよう「一市民一スポーツ」を目標とするスポーツ振興基本計画を策定し、多彩なスポーツ・レクリエーションの催しなどを展開します。	構想・検討	スポーツ振興基本計画策定 推進	スポーツ振興基本計画策定（16年度） 推進	策定委員会を設置し、スポーツ振興基本計画を策定しました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	市民委員も加えたスポーツ振興基本計画策定委員会で協議し、パブリック・コメントを実施したうえで、計画を策定しました。
92	秋葉の森総合公園整備事業（再掲p81）	都市局 公園みどり課	緑に囲まれた豊かな自然環境の中で、快適にスポーツを楽しむ多目的スポーツ広場を整備します。	事業中	事業中	多目的グラウンド完成（16年度） 散策路整備（19年度～） 事業中	駐車場整備や植栽工事を行いました。	7 健全な行財政運営	工事にあたっては、コスト削減の観点から、設計の初期段階において構造形式や施工方法などを多角的に検討し、当該工事現場に最適となるような設計を行いました。
93	校庭開放夜間照明整備事業	教育委員会 体育課	市民の身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、市内小中学校の夜間開放を行うため、照明設備未設置の学校での整備を計画的に進めます。	設置済 10校	10校	14校	関係各課との調整を行うなど、計画の基本的な考え方の整理・検討を行いました。	-	-
94	障害者のスポーツ参加の推進（再掲p44）	保健福祉局 障害福祉課	障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、また現在、市で実施している障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。	推進	推進	推進	第4回全国障害者スポーツ大会に選手を派遣（身体障害者選手49人、知的障害者選手82人、役員56人 計187人参加）するための補助金を交付しました。ふれあいスポーツ大会は、雨天のため中止となりました。	-	-

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
95	国際スポーツイベントの開催支援（2006年バスケットボール男子世界選手権大会）（再掲p107）	政策局 スポーツ企画課	埼玉県を主体として開催される「バスケットボール2006年男子世界選手権大会」の会場市として県と連携し、大会を支援します。	構想・検討	推進	開催準備（17年度～） 開催（18年度）	2006年FIBAバスケットボール世界選手権組織委員会と埼玉県運営支援委員会の一員として、本市の各イベント会場において大会開催に係る各種キャンペーン活動を実施しました。	-	-
96	シティマラソンの開催	教育委員会 体育課	市民のスポーツに対する意欲・関心を促すため、全国規模のマラソン大会を開催します。	参加者 2,710人	3,300人	4,000人	H16年11月23日に実施しました。ハーフ・3Kの部を合わせ、3,300人の参加者がありました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	関係競技団体などの協力を得て、大会を実施しました。
97	さいたま市・館岩村親善ツデーマーチの開催（再掲p108）	教育委員会 体育課	さいたま市民が館岩村民とともに村内を歩き、豊かな自然や地域文化への理解、健康・体力づくりをテーマに交流を図るツデーマーチを開催します。	参加者 182人	135人	200人	H16年10月9日・10日に実施し、135名の参加者がありました。	-	-
98	総合型地域スポーツクラブ支援事業	教育委員会 体育課	スポーツ人口の拡大や地域コミュニティの再生、世代間交流などを図るため、スポーツやコミュニケーションを自由に楽しむことのできる、地域に密着した総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援します。	構想・検討	0	スポーツクラブ 設立数 9	総合型地域スポーツクラブの設立・運営のため、推進委員会を設置して、協議を行いました。	3 市民活動の支援	総合型地域スポーツクラブ推進委員会を設置して、クラブの支援策を検討しました。
99	さいたまシティカップ開催事業（再掲p107）	政策局 スポーツ企画課	サッカーJリーグの浦和レッズ・大宮アルディージャと世界の強豪クラブチームとの国際親善試合を埼玉スタジアム2002で定期的に開催します。	第1回大会開催（15年度）	第2回大会開催	推進	H16年7月27日に埼玉スタジアム2002において、浦和レッズ対インテル・ミラノ（イタリア）戦を開催し、57,663人の入場者数がありました。	-	-
100	サッカーのまちづくり推進事業	政策局 スポーツ企画課	サッカーのまちづくり推進協議会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャ、さいたまレイナスへの支援などを行います。	推進	推進	推進	高校選抜サッカー選手団海外派遣、少年少女サッカー教室などを主催するサッカーのまちづくり協議会の活動を支援するとともに、Jリーグ2チーム、さいたまレイナスを支援することにより、サッカーのまちづくりを推進しました。	-	-
第4節 さいたま文化の創造									
101	盆栽文化の振興・活用（再掲p91）	政策局 総合政策監 担当	本市の地域資源であり、世界にも誇れる盆栽文化の振興・活用を図るため、盆栽文化の情報発信拠点の整備などに向けた構想を策定し、推進します。	盆栽村来訪者 22万人／年	20万人／年	40万人／年	盆栽文化振興・活用基本構想の策定を行いました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	基本構想の策定に当たっては、市民懇話会の意見を尊重し、また、地元の盆栽園を地域資源として基本構想の主要な要素として位置づけました。

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
102	氷川参道の整備 (再掲p69)	都市局 大宮駅周辺計画管理課	都心における緑や歩行者のネットワークを形成するため、氷川参道（大宮中央通線以南）をうるおいのある歩行者空間として整備します。	氷川参道（大宮中央通線以南）における歩行者空間の確保率 41.6%	41.60%	100%	交互通行区間の一方通行化・歩車分離方策の検討と交通実験を実施しました。また、氷川参道の将来像ワークショップと地元まちづくり活動の推進を行いました。	1 協働の仕組みづくり・具体化 2 市民との情報共有 3 市民活動の支援	事業の実施・結果について、市ホームページや地元まちづくり組織の機関紙などにより、随時情報提供を行いました。地元まちづくり組織では、氷川参道での交通実験に併せて、樹木観察会を行いました。地元自治会や周辺企業との協働により氷川参道清掃活動を行いました。
103	見沼通船堀公園整備事業	都市局 公園みどり課	見沼通船堀の復元とガーデンパーク事業手法を取り込んだ公園整備を行い、史跡公園として整備します。	事業中	事業中	事業中	公園用地の一部を取得しました。	-	-
104	鉄道博物館の整備促進	市民局 文化振興課	東日本鉄道文化財団による鉄道博物館の整備に伴い、本市の地域資源である鉄道文化を生かした魅力あるまちづくりを促進します。	促進	促進	完成 (19年度)	東日本旅客鉄道（株）が施設の基本設計を策定しました。また、学識経験者や県、市で構成する鉄道博物館整備促進検討委員会を4回開催しました。	-	-
105	スポーツ文学賞事業	市民局 文化振興課	スポーツと芸術文化活動が盛んな本市のアピールのため、全国からスポーツをテーマとした文芸作品を募集し、作品集「SPORTS STORIES」を刊行します。	推進	推進	推進	第2回スポーツ文学賞の選考、表彰を行い、作品集「SPORTS STORIES」を刊行しました。	-	-
106	漫画・ユーモア文化の振興事業	市民局 文化振興課	地域の特色ある文化資源である漫画の重要な要素としての「ユーモア」をもとに、心の豊かさを実感できる場や機会を提供するため、国際漫画フェスティバルやユーモアフォトコンテストなどの事業を積極的に展開し、新たな都市文化の創造を目指します。また、（仮）プラザノースにおいて漫画・ユーモア文化の発信を行います。	推進	推進	推進	国際漫画フェスティバルやユーモアフォトコンテスト、アジア漫画展を開催しました。	-	-

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
107	(仮)文化芸術振興計画の策定	市民局 文化振興課	本市の文化芸術を振興し、「さいたま文化」の創造を目指すため、(仮)文化芸術振興計画を策定し、市民の文化芸術活動への支援を行い、本市の特色ある盆栽文化や鉄道文化、スポーツ文化、ユーモア文化などを発信します。	推進	推進	文化芸術振興計画策定 (17年度) 推進	庁内検討委員会、研究会を設置するとともに、文化団体関連調査や区民会議アンケート調査、庁内基礎調査を実施しました。	-	-